

1972年12月10日発行
共産主義者同盟(RG)
第7号 100円 発行人 野村 忠

赤報

スターリン主義打倒、反スタマルクス主義止揚、革命的マルクス・レーニン主義復権の旗を更に高く揚げ、国際非合法党を建設せよ!

日共の人民民主主義路線を粉砕し、革命戦争をおし進めよう!

民主主義に対するマルクス・レーニン主義の原則的態度について

われわれがすでに指摘してきた、烽火一派のブルジョア民主主義の崩壊... 日本共産党は、第1回大改訂の組織改組、細部の支那への名称変更、大衆党への転換にまつて、プロレタリア革命の根本問題... 作業者階級に属する。この理論的試案は、固執的に、モルティ・ジョーダン、社会主義、民主主義、建設政策(1)世界政治(1972年10月10日)として、なされておられ、それが日共の政治的立場を明らかにしている。...

はじめに

第一章 民主主義に対するレーニンの態度について

(1) どのような観点からレーニンを学ぶか

レーニン主義がなぜか、そのような態度が必要か、われわれは、この問題について、簡単に述べなければならない。レーニン主義の原則的態度は、いかなる場合でも、矛盾を認めず、一貫したものである。レーニン主義の原則的態度は、その政治的立場に即して、明確に表現されている。...

(2) 民主主義と社会主義の根本的相違について

一九一〇年革命前後のレーニン主義は、プロレタリアートの革命的民主主義の路線をめぐって、その間に、民主主義と社会主義の根本的相違を明らかにした。民主主義は、ブルジョア階級の利益を代表するものである。...

(3) プロレタリアートの農民の革命的民主主義的独裁をめざした時期における民主主義の問題

このレーニンの時期の民主主義に対する態度は、民主主義革命をめぐって、プロレタリアートの革命的民主主義的独裁をめざした時期における民主主義の問題である。...

(4) 民主主義と社会主義の根本的相違について

民主主義と社会主義の根本的相違について、その根本的相違は、その政治的立場に即して、明確に表現されている。...

レーニンの見地から、ブルジョア階級の崩壊... 民主主義と社会主義の根本的相違は、その政治的立場に即して、明確に表現されている。...

第二章 民主主義に対するレーニンの態度について

(1) どのような観点からレーニンを学ぶか

レーニン主義がなぜか、そのような態度が必要か、われわれは、この問題について、簡単に述べなければならない。...

(2) 民主主義と社会主義の根本的相違について

一九一〇年革命前後のレーニン主義は、プロレタリアートの革命的民主主義の路線をめぐって、その間に、民主主義と社会主義の根本的相違を明らかにした。...

(3) プロレタリアートの農民の革命的民主主義的独裁をめざした時期における民主主義の問題

このレーニンの時期の民主主義に対する態度は、民主主義革命をめぐって、プロレタリアートの革命的民主主義的独裁をめざした時期における民主主義の問題である。...

(4) 民主主義と社会主義の根本的相違について

民主主義と社会主義の根本的相違について、その根本的相違は、その政治的立場に即して、明確に表現されている。...

(5) 民主主義と社会主義の根本的相違について

民主主義と社会主義の根本的相違について、その根本的相違は、その政治的立場に即して、明確に表現されている。...

民主主義と社会主義の根本的相違について、その根本的相違は、その政治的立場に即して、明確に表現されている。...











# 連合赤軍に対する

## 日共革命左派の態度

### 渡辺正則君の総括批判

はじめに

連合赤軍の総括批判は、二日後の三月三日(日)に、日共革命左派の機関紙「赤旗」に掲載された。渡辺正則君の「日共革命左派の態度」は、この批判の中心をなしている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

### 第一章 連合赤軍の闘争に

#### 対する渡辺君の総括

#### ① 渡辺君の連合赤軍 総括における態度

渡辺君の連合赤軍の総括は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

#### ② 肅清問題 について

渡辺君の連合赤軍の総括は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

### 第二章 「反米愛国」路線の 批判

#### ① 「反米愛国」路線の 大枠

渡辺君は、「反米愛国」路線の批判を、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

#### ② 日共革命左派の遊撃 戦術の基礎

渡辺君は、「反米愛国」路線の批判を、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

渡辺君の連合赤軍の総括は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

渡辺君の連合赤軍の総括は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。

渡辺君の連合赤軍の総括は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。渡辺君の批判は、日共革命左派の立場から、連合赤軍の組織的・政治的・思想的な諸問題を論じている。



